

系尊屬、滿十八歳未滿ノ直系卑屬及弟妹若ハ不具發
疾者ニシテ主トシテ本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持ス
ルモノ一人ニ付月額五圓ノ割合ニ依リ計算シタル金
額以內ニ於テ支給スル手當

六 精勤手當 一定期間精勤シタル勞務者ニ對シ一月

ニ付基本給三分分又ハ標準報酬日額ノ二分分ノ割合

ニ依リ計算シタル金額以內ニ於テ支給スル手當

七 臨時休業手當 雇主臨時ニ休業ヲ命ジタル勞務

者ニ對シ其ノ休業ノ日又ハ時間ニ付支給スル手當

八 防空勤務手當 所定就業時間外ニ於テ工場又ハ事

業場ノ防空勤務ニ服シタル勞務者ニ對シ勤務ノ都度

支給スル手當

九 稼働率及能率増進ノ爲ニスル手當

〔参照〕 昭和十八年一月二十六日厚生省告示第三十一號ハ本號

ト同伴ナリ

厚生省告示第三百二號

賃金統制令施行規則第二十五條ノ五第三號ノ規定ニ
依リ賃金統制令第十六條第二項ノ認可ヲ受クルヲ要セ
ザル手當ヲ左ノ通指定シ昭和十八年七月一日ヨリ之ヲ
施行ス

一 應召手當 陸軍召集規則第二條第一項又ハ海軍召
集規則第三條第一項ノ召集ニ應召中ノ勞務者ニ對シ
支給スル手當

二 入營手當 現役在營中ノ勞務者ニ對シ支給スル手
當

三 軍事參會手當 徵兵検査ノ身體検査、簡閱點呼又
ハ帝國在郷軍人會則第十條第二號イ、ロニ掲ゲル

訓練(一年ニ付四十時間ヲ超エザル訓練ヲ受クル勞
務者ニ對シ身體検査、簡閱點呼又ハ訓練ノ當日若ハ
時間ニ付支給スル手當

四 應徵手當 國民徵用令ニ依リ徵用中ノ勞務者ニ對
シ支給スル手當

五 家族手當 勞務者ニ對シ其ノ配偶者(届出ヲ爲サ
ザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含
ム)又ハ本人ト同一戸籍内ニ在ル滿六十歳以上ノ直

系尊屬、滿十八歳未滿ノ直系卑屬及弟妹若ハ不具發

疾者ニシテ主トシテ本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持ス

ルモノ一人付月額五圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額

以內ニ於テ支給スル手當

六 精勤手當 一定期間精勤シタル勞務者ニ對シ一月

ニ付基本給三分分又ハ標準報酬日額ノ二分分ノ割合

ニ依リ計算シタル金額以內ニ於テ支給スル手當

七 臨時休業手當 雇主臨時ニ休業ヲ命ジタル勞務

者ニ對シ其ノ休業ノ日又ハ時間ニ付支給スル手當

八 防空勤務手當 所定就業時間外ニ於テ工場又ハ事

業場ノ防空勤務ニ服シタル勞務者ニ對シ勤務ノ都度

支給スル手當

國民勤勞報國協力令中改正ノ件公布

昭和十六年十一月公布をみた國民勤勞報國協力令に
ついては本誌第二卷第十二號本欄所報の如くであるが、
決戦下國民勞力の總動員要請に應ずべき司令中一部改
正の勅令は、昭和十八年六月十九日付官報を以て左の
如く公布せられた。

國民勤勞報國協力令中改正ノ件

〔昭和十八年六月十八日
勅令第五百十五號〕

國民勤勞報國協力令中左ノ通改正ス
第二條中「東京府」ヲ「東京都」ニ改ム
第三條第一項中「四十年」ヲ「五十年」ニ改ム
第四條中「三十日」ヲ「六十日」ニ改ム

第六條中「市町村長ニ準ズベキモノヲ含ム」ヲ「市町村
長ニ準ズベキモノヲ含ミ東京都ノ區ノ存スル區域ニ在
リテハ區長トス」ニ改ム

第十四條中「東京府」ニ在リテハ「警視總監及東京府知事
トス」ヲ「東京都」ニ在リテハ「東京都長官及警視總監ト
ス」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
但シ第二條第六條及第十四條ノ改正規定ハ昭和十八年
七月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔参照〕

昭和十六年十一月二十日 勅令第九百九十五號國民勤勞
報國協力令抄録
第三條第一項

國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムベキ者ハ帝
國臣民ニシテ年齢十四年以上四十歳未滿ノ男子及
年齢十四年以上二十五年未滿ノ女子(妻及届出ヲ
爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル女
子ヲ除ク)トス

第四條 國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムル期
間ハ命令ノ定ムル所ニ依リ一年ニ付三十日以内ト
ス

前項ノ期間ハ特別ノ必要アル場合又ハ本人ノ同意
アル場合ニ於テハ三十日ヲ超ユルコトヲ得

第六條 厚生大臣又ハ地方長官ハ前條ノ規定ニ依ル

請求又ハ申請アリタル場合ニ於テ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムル必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村長(市町村長ニ準ズベキモノヲ含ム以下同ジ)其ノ他ノ團體ノ長又ハ學校長ニ對シ協力ヲ受クベキ者 作業ノ種類 協力ヲ爲スベキ場所及期間並ニ所要人員數其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ必要ナル措置ヲ命ズルモノトス

第十四條 第六條ノ規定ニ依リ學校長ニ對シ必要ナル措置ヲ命ズル場合ノ學校存學者ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シテハ第五條第六條及前二條中厚生大臣トアルハ文部大臣及厚生大臣トシ地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ警視總監及東京府知事トス

工場法戰時特例の公布

決戦段階下國民勞力の總動員の要請に即應すべき工場法の戰時特例に關する件は昭和十八年六月十六日付官報を以て左の如く公布せられた。

工場法戰時特例

(昭和十八年六月十五日勅令第五百號)

第一條 戰時行政特例法ニ基ク工場法ノ特例ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 工場法第三條、第四條及第七條ノ規定ハ厚生大臣ノ指定スル工場ニ之ヲ適用セズ

前項ノ指定ハ指定スベキ工場ノ工業主ニ對スル通知ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

第三條 工業主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許

可ヲ受ケ十六歳未満ノ者及女子ヲシテ工場法第九條、第十條及第十一條第二項ノ規定ニ拘ラズ同法第十一條第一項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ定ムル義務ニ就カシムルコトヲ得

第四條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ第二條第一項ノ工場ノ工業主ニ對シ同條ノ規定實施ノ爲勤勞管理ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第五條 工場法第十九條及第二十五條ノ規定ハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ之ヲ準用ス

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

工場法戰時特例施行規則の公布

工場法戰時特例施行規則は、昭和十八年六月十六日付官報を以て左の如く公布せられた。

工場法戰時特例施行規則

(昭和十八年六月十六日厚生省令第十八號)

第一條 工場法戰時特例(以下令ト稱ス)第二條ノ規定ニ依リ重要事業場勞務管理令第二條ノ規定ニ依リ指定シタル工場ヲ指定ス

第二條 令第二條第二項ノ規定ニ依ル通知ニ依リ指定ヲ受ケタル工場ノ工業主ハ其ノ旨職工ニ周知セシムベシ

第三條 令第三條ノ許可ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 工場ノ名稱、所在地及事業ノ種類
- 二 工場主ノ氏名及住所(法人タル工業主ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地及代表者ノ氏

(名)

三 常時使用スル男女別、十六歳以上十六歳未満ノ年齢別職工數

四 許可ヲ受ケ就業セシメントスル業務

五 許可ヲ受ケ就業セシメントスル男女別職工數

六 許可ヲ受ケントスル理由

第四條 令第三條中行政官廳トアルハ地方長官 令第

四條中行政官廳トアルハ第一條ノ工場ニ在リテハ厚生大臣、其ノ他ノ工場ニ在リテハ地方長官トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

工場法施行規則中改正の件公布

工場法施行規則中改正の件は、昭和十八年六月十六日付官報を以て左の如く公布せられた。

工場法施行規則中改正ノ件

(昭和十八年六月十六日厚生省令第十九號)

第五條第三號中「汽罐」ノ下ニ「汽罐取締令第四條各號ノ一該當スルモノヲ除ク」ヲ、第四號中「電動機」ノ下ニ「七キロワット以下ノモノヲ除ク」ヲ加ヘ、同號中「發電機ノ抵抗器」ヲ削リ、第五號中「鋸機」ノ下ニ「鋸ノ直徑二十五種以下ノ圓鋸機及卓上帶鋸機ニシテ鋸ノ幅三十八耗以下ノモノヲ除ク」ヲ加ヘ、第六號及第七號ヲ削ル

第六條第五號 削除

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス